

3. 大学教職員等への啓蒙・啓発

3-1 教育改革IT戦略大会

重複テーマの整理、参加者の負担軽減を図るため「大学教育・情報戦略大会」の事業の見直しを行うことになり、「教育改革ITフォーラム」と統合し、新たに「教育改革IT戦略大会」とした。大会の目的は、教育改革を促進するための組織的戦略や教育改善効果を高めるIT活用法について共通理解を深め、教育現場の課題解決を模索することにした。本大会の運営・実施は、大会とフォーラムの両運営委員会を統合し、教育改革IT戦略大会運営委員会（委員長：向殿政男、明治大学）として改組した。

(1) 開催方針

20年度は、前年度の両事業の参加者アンケートを踏まえ、次のような方針のもとで開催プログラムを決定した。

- ① 初日は、学士課程の構築に関する中央教育審議会の報告、FDの取組み事例、教員の教育力や職員の支援体制に関する話題を取り上げる。
- ② 2日目は従来どおりの公募による教育・支援環境の事例紹介を行う。
- ③ 3日目は「教育改革ITフォーラム」で行っていた複数分科会によるテーマ別の討議を実施することにし、FDや学生の能力を高めるための授業法などとする。
- ④ 賛助会員による教育システム等の展示会は、例年通り2日目と3日目に実施する。

(2) 開催結果

以上の方針のもとに、次ページの通り開催要項および日程を決定し、9月2日、3日、4日の3日間に亘り、東京市ヶ谷のアルカディア市ヶ谷（私学会館）を会場に開催した。参加は173大学、21短大、1高専、賛助会員は20社で、3日間の参加者数は2日目発表者や賛助会員を含めて445名となり、昨年度とほぼ同じ結果となった。なお、大会の概要は巻末の資料編【資料12】を参照されたい。

(3) 次年度への準備

大会後、運営委員会では参加者アンケートを踏まえて、平成21年度の開催方針について検討を行った。日程および会場は、9月1日から3日の3日間、アルカディア市ヶ谷（私学会館）に決定した。

プログラムは、「教育改革推進の基本問題」、「情報通信技術活用に伴う教育政策」、「教育効果を高める情報通信技術の活用方法」、「最新の情報技術及び情報環境等の専門知識」の観点から設定することになっている。初日は昨年度と同様にFDや学士力をテーマとした講演や事例紹介、2日目は初日の内容に関連したテーマによる分科会形式の討議を実施することになっている。また、2日目午後には短期大学向けの「短期大学部門FD/IT戦略会議」を同会場で併催するため、短大関係者が「短期大学部門FD/IT戦略会議」に参加しやすいよう分科会のテーマを調整することになっている。3日目は例年通り公募による情報技術を活用した教育事例等の発表を行う。2日目と3日目には、大学関係者と賛助会員合同による実践事例の紹介をポスターセッション形式で実施する予定。開催の様子は、VTR等オンデマンド配信、ホームページ掲載を予定している。

平成20年度 教育革新Ⅰ戦略大会 プログラム

社団法人 私立大学情報教育協会

9月2日(火)		9月3日(水)		9月4日(木)						
参加費 会場	会員:7,500円・非会員11,250円 3F 富士	参加費 会場	会員:6,500円・非会員9,750円 5F 大宮 5F 大宮 5F 大宮	参加費 会場	会員:7,000円・非会員10,500円 5F 大宮 5F 大宮					
10:30	開会挨拶 戸高 敏之 会長(私立大学情報教育協会) 「社会の期待に応える大学教育とは」 ～学士課程教育の構築に関する答申～ 文部科学省 榎本 剛氏 (高等教育局高等教育企画課 高等教育政策課長) 大学教育の質保証が求められている中、社会の期待に応える大 学教育とは何か、大学教育で身につけるべき能力に関する国の 指針として、文部科学省中央教育審議会でも定められた学士課 程教育の構築に関する答申を踏まえ、大学で取り組むべき課題 (学士力の明確化、教育内容・方法の改善、初年次教育等)、画 として支援すべき課題について紹介する。	10:00	大会発表表(82件) 授業改善のための教育へのIT活用や支 援環境について、日頃の取り組み、構想 を発表。 A-1 B-1 C-1 D-1 E-1 A-2 B-2 C-2 D-2 E-2 A-3 B-3 C-3 D-3 E-3 休憩(10分) A-4 B-4 C-4 D-4 E-4 A-5 B-5 C-5 D-5 E-5 11:00	10:00	分科会A FD実質化への取り組み 本分科会では、FDの実質化を探索するため、教員自身が ワークショップなどにより体験するFDの取り組みや(上智大 学)、教員が相互に授業を公開してピアレビューする取り組み (流通科学大学)、授業内容の「見える化」による授業改 善促進と教員研修の導入(法政大学)などについて問題提 起をいただいたとき、学問または学科としての組織的な教育内 容、教育方法の改善への対応を探索する。 ＜課題提起＞ ・上智大学 山本 浩氏(文学部教授) ・近畿大学 宗像 恵氏(副学長、理工学部教授) ・流通科学大学 南木 睦彦氏(教育高度化推進センター長)	10:00	分科会B 分科会C 分科会D 分科会E 分科会F 分科会G 分科会H 分科会I 分科会J 分科会K 分科会L 分科会M 分科会N 分科会O 分科会P 分科会Q 分科会R 分科会S 分科会T 分科会U 分科会V 分科会W 分科会X 分科会Y 分科会Z 分科会AA 分科会AB 分科会AC 分科会AD 分科会AE 分科会AF 分科会AG 分科会AH 分科会AI 分科会AJ 分科会AK 分科会AL 分科会AM 分科会AN 分科会AO 分科会AP 分科会AQ 分科会AR 分科会AS 分科会AT 分科会AU 分科会AV 分科会AW 分科会AX 分科会AY 分科会AZ 分科会BA 分科会BB 分科会BC 分科会BD 分科会BE 分科会BF 分科会BG 分科会BH 分科会BI 分科会BJ 分科会BK 分科会BL 分科会BM 分科会BN 分科会BO 分科会BP 分科会BQ 分科会BR 分科会BS 分科会BT 分科会BU 分科会BV 分科会BW 分科会BX 分科会BY 分科会BZ 分科会CA 分科会CB 分科会CC 分科会CD 分科会CE 分科会CF 分科会CG 分科会CH 分科会CI 分科会CJ 分科会CK 分科会CL 分科会CM 分科会CN 分科会CO 分科会CP 分科会CQ 分科会CR 分科会CS 分科会CT 分科会CU 分科会CV 分科会CW 分科会CX 分科会CY 分科会CZ 分科会DA 分科会DB 分科会DC 分科会DD 分科会DE 分科会DF 分科会DG 分科会DH 分科会DI 分科会DJ 分科会DK 分科会DL 分科会DM 分科会DN 分科会DO 分科会DP 分科会DQ 分科会DR 分科会DS 分科会DT 分科会DU 分科会DV 分科会DW 分科会DX 分科会DY 分科会DZ 分科会EA 分科会EB 分科会EC 分科会ED 分科会EE 分科会EF 分科会EG 分科会EH 分科会EI 分科会EJ 分科会EK 分科会EL 分科会EM 分科会EN 分科会EO 分科会EP 分科会EQ 分科会ER 分科会ES 分科会ET 分科会EU 分科会EV 分科会EW 分科会EX 分科会EY 分科会EZ 分科会FA 分科会FB 分科会FC 分科会FD 分科会FE 分科会FF 分科会FG 分科会FH 分科会FI 分科会FJ 分科会FK 分科会FL 分科会FM 分科会FN 分科会FO 分科会FP 分科会FQ 分科会FR 分科会FS 分科会FT 分科会FU 分科会FV 分科会FW 分科会FX 分科会FY 分科会FZ 分科会GA 分科会GB 分科会GC 分科会GD 分科会GE 分科会GF 分科会GG 分科会GH 分科会GI 分科会GJ 分科会GK 分科会GL 分科会GM 分科会GN 分科会GO 分科会GP 分科会GQ 分科会GR 分科会GS 分科会GT 分科会GU 分科会GV 分科会GW 分科会GX 分科会GY 分科会GZ 分科会HA 分科会HB 分科会HC 分科会HD 分科会HE 分科会HF 分科会HG 分科会HH 分科会HI 分科会HJ 分科会HK 分科会HL 分科会HM 分科会HN 分科会HO 分科会HP 分科会HQ 分科会HR 分科会HS 分科会HT 分科会HU 分科会HV 分科会HW 分科会HX 分科会HY 分科会HZ 分科会IA 分科会IB 分科会IC 分科会ID 分科会IE 分科会IF 分科会IG 分科会IH 分科会II 分科会IJ 分科会IK 分科会IL 分科会IM 分科会IN 分科会IO 分科会IP 分科会IQ 分科会IR 分科会IS 分科会IT 分科会IU 分科会IV 分科会IW 分科会IX 分科会IY 分科会IZ 分科会JA 分科会JB 分科会JC 分科会JD 分科会JE 分科会JF 分科会JG 分科会JH 分科会JI 分科会JJ 分科会JK 分科会JL 分科会JM 分科会JN 分科会JO 分科会JP 分科会JQ 分科会JR 分科会JS 分科会JT 分科会JU 分科会JV 分科会JW 分科会JX 分科会JY 分科会JZ 分科会KA 分科会KB 分科会KC 分科会KD 分科会KE 分科会KF 分科会KG 分科会KH 分科会KI 分科会KJ 分科会KK 分科会KL 分科会KM 分科会KN 分科会KO 分科会KP 分科会KQ 分科会KR 分科会KS 分科会KT 分科会KU 分科会KV 分科会KW 分科会KX 分科会KY 分科会KZ 分科会LA 分科会LB 分科会LC 分科会LD 分科会LE 分科会LF 分科会LG 分科会LH 分科会LI 分科会LJ 分科会LK 分科会LL 分科会LM 分科会LN 分科会LO 分科会LP 分科会LQ 分科会LR 分科会LS 分科会LT 分科会LU 分科会LV 分科会LW 分科会LX 分科会LY 分科会LZ 分科会MA 分科会MB 分科会MC 分科会MD 分科会ME 分科会MF 分科会MG 分科会MH 分科会MI 分科会MJ 分科会MK 分科会ML 分科会MN 分科会MO 分科会MP 分科会MQ 分科会MR 分科会MS 分科会MT 分科会MU 分科会MV 分科会MW 分科会MX 分科会MY 分科会MZ 分科会NA 分科会NB 分科会NC 分科会ND 分科会NE 分科会NF 分科会NG 分科会NH 分科会NI 分科会NJ 分科会NK 分科会NL 分科会NM 分科会NO 分科会NP 分科会NQ 分科会NR 分科会NS 分科会NT 分科会NU 分科会NV 分科会NW 分科会NX 分科会NY 分科会NZ 分科会OA 分科会OB 分科会OC 分科会OD 分科会OE 分科会OF 分科会OG 分科会OH 分科会OI 分科会OJ 分科会OK 分科会OL 分科会OM 分科会ON 分科会OO 分科会OP 分科会OQ 分科会OR 分科会OS 分科会OT 分科会OU 分科会OV 分科会OW 分科会OX 分科会OY 分科会OZ 分科会PA 分科会PB 分科会PC 分科会PD 分科会PE 分科会PF 分科会PG 分科会PH 分科会PI 分科会PJ 分科会PK 分科会PL 分科会PM 分科会PN 分科会PO 分科会PP 分科会PQ 分科会PR 分科会PS 分科会PT 分科会PU 分科会PV 分科会PW 分科会PX 分科会PY 分科会PZ 分科会QA 分科会QB 分科会QC 分科会QD 分科会QE 分科会QF 分科会QG 分科会QH 分科会QI 分科会QJ 分科会QK 分科会QL 分科会QM 分科会QN 分科会QO 分科会QP 分科会QQ 分科会QR 分科会QS 分科会QT 分科会QU 分科会QV 分科会QW 分科会QX 分科会QY 分科会QZ 分科会RA 分科会RB 分科会RC 分科会RD 分科会RE 分科会RF 分科会RG 分科会RH 分科会RI 分科会RJ 分科会RK 分科会RL 分科会RM 分科会RN 分科会RO 分科会RP 分科会RQ 分科会RR 分科会RS 分科会RT 分科会RU 分科会RV 分科会RW 分科会RX 分科会RY 分科会RZ 分科会SA 分科会SB 分科会SC 分科会SD 分科会SE 分科会SF 分科会SG 分科会SH 分科会SI 分科会SJ 分科会SK 分科会SL 分科会SM 分科会SN 分科会SO 分科会SP 分科会SQ 分科会SR 分科会SS 分科会ST 分科会SU 分科会SV 分科会SW 分科会SX 分科会SY 分科会SZ 分科会TA 分科会TB 分科会TC 分科会TD 分科会TE 分科会TF 分科会TG 分科会TH 分科会TI 分科会TJ 分科会TK 分科会TL 分科会TM 分科会TN 分科会TO 分科会TP 分科会TQ 分科会TR 分科会TS 分科会TT 分科会TU 分科会TV 分科会TW 分科会TX 分科会TY 分科会TZ 分科会UA 分科会UB 分科会UC 分科会UD 分科会UE 分科会UF 分科会UG 分科会UH 分科会UI 分科会UJ 分科会UK 分科会UL 分科会UM 分科会UN 分科会UO 分科会UP 分科会UQ 分科会UR 分科会US 分科会UT 分科会UU 分科会UV 分科会UW 分科会UX 分科会UY 分科会UZ 分科会VA 分科会VB 分科会VC 分科会VD 分科会VE 分科会VF 分科会VG 分科会VH 分科会VI 分科会VJ 分科会VK 分科会VL 分科会VM 分科会VN 分科会VO 分科会VP 分科会VQ 分科会VR 分科会VS 分科会VT 分科会VU 分科会VV 分科会VW 分科会VX 分科会VY 分科会VZ 分科会WA 分科会WB 分科会WC 分科会WD 分科会WE 分科会WF 分科会WG 分科会WH 分科会WI 分科会WJ 分科会WK 分科会WL 分科会WM 分科会WN 分科会WO 分科会WP 分科会WQ 分科会WR 分科会WS 分科会WT 分科会WU 分科会WV 分科会WW 分科会WX 分科会WY 分科会WZ 分科会XA 分科会XB 分科会XC 分科会XD 分科会XE 分科会XF 分科会XG 分科会XH 分科会XI 分科会XJ 分科会XK 分科会XL 分科会XM 分科会XN 分科会XO 分科会XP 分科会XQ 分科会XR 分科会XS 分科会XT 分科会XU 分科会XV 分科会XW 分科会XX 分科会XY 分科会XZ 分科会YA 分科会YB 分科会YC 分科会YD 分科会YE 分科会YF 分科会YG 分科会YH 分科会YI 分科会YJ 分科会YK 分科会YL 分科会YM 分科会YN 分科会YO 分科会YP 分科会YQ 分科会YR 分科会YS 分科会YT 分科会YU 分科会YV 分科会YW 分科会YX 分科会YY 分科会YZ 分科会ZA 分科会ZB 分科会ZC 分科会ZD 分科会ZE 分科会ZF 分科会ZG 分科会ZH 分科会ZI 分科会ZJ 分科会ZK 分科会ZL 分科会ZM 分科会ZN 分科会ZO 分科会ZP 分科会ZQ 分科会ZR 分科会ZS 分科会ZT 分科会ZU 分科会ZV 分科会ZW 分科会ZX 分科会ZY 分科会ZZ	11:00	11:00	11:00
12:00	休憩(60分)	12:10	休憩(80分)	12:30	分科会D 初年次教育と学習スキルの定着 本分科会では、大学の授業に学生が主体的に参加できる よう、学習の動機付け、学習方法、文書表現力などのスキ ルについて大学としての取り組みや(創国大学)、初年次教 育の学習スキルの定着を図るための全学的な取り組み(千 歳科学技術大学)について問題提起をいただき、学習法ス キルの定着の可能性を模索する。 ＜課題提起＞ ・創国大学 高木 功氏(経済学部教授) ・千歳科学技術大学 小松川 浩氏(工学部教授)					
13:00	事例紹介 「教育革新推進に向けたFD活動」 カリキュラム改革、公開授業と教員研修、学生授業評価、教員自 己研修の実施など、FDおよび学習の支援センターを中心とした 具体的なFDの取り組みを紹介する。 ・山口 勲氏 (大学教育センター教授) 小川 大 大回工業大学 酒井 陽一氏 (授業開発センター長)	13:30	休憩(10分)	14:00	分科会E 初年次教育と学習スキルの定着 本分科会では、大学の授業に学生が主体的に参加できる よう、学習の動機付け、学習方法、文書表現力などのスキ ルについて大学としての取り組みや(創国大学)、初年次教 育の学習スキルの定着を図るための全学的な取り組み(千 歳科学技術大学)について問題提起をいただき、学習法ス キルの定着の可能性を模索する。 ＜課題提起＞ ・創国大学 高木 功氏(経済学部教授) ・千歳科学技術大学 小松川 浩氏(工学部教授)					
14:00	休憩(60分)	14:30	休憩(10分)	14:45	分科会F 初年次教育と学習スキルの定着 本分科会では、大学の授業に学生が主体的に参加できる よう、学習の動機付け、学習方法、文書表現力などのスキ ルについて大学としての取り組みや(創国大学)、初年次教 育の学習スキルの定着を図るための全学的な取り組み(千 歳科学技術大学)について問題提起をいただき、学習法ス キルの定着の可能性を模索する。 ＜課題提起＞ ・創国大学 高木 功氏(経済学部教授) ・千歳科学技術大学 小松川 浩氏(工学部教授)					
14:50	事例紹介 「教育革新支援のためのSD活動」 学校法人立命館 本間 政博氏 (副総長、大学行政研究・研修センター長) 大学の使命である人材育成に向け、教員と職員が一体となった 教育革新を実現できるよう、職員の意識改革、職員として働ける 術を醸成した取り組みを紹介する。	15:00	休憩(10分)	15:40	分科会G 初年次教育と学習スキルの定着 本分科会では、大学の授業に学生が主体的に参加できる よう、学習の動機付け、学習方法、文書表現力などのスキ ルについて大学としての取り組みや(創国大学)、初年次教 育の学習スキルの定着を図るための全学的な取り組み(千 歳科学技術大学)について問題提起をいただき、学習法ス キルの定着の可能性を模索する。 ＜課題提起＞ ・創国大学 高木 功氏(経済学部教授) ・千歳科学技術大学 小松川 浩氏(工学部教授)					
15:05	事例紹介 「教育革新支援のためのSD活動」 学校法人立命館 本間 政博氏 (副総長、大学行政研究・研修センター長) 大学の使命である人材育成に向け、教員と職員が一体となった 教育革新を実現できるよう、職員の意識改革、職員として働ける 術を醸成した取り組みを紹介する。	15:40	休憩(10分)	16:00	分科会H 初年次教育と学習スキルの定着 本分科会では、大学の授業に学生が主体的に参加できる よう、学習の動機付け、学習方法、文書表現力などのスキ ルについて大学としての取り組みや(創国大学)、初年次教 育の学習スキルの定着を図るための全学的な取り組み(千 歳科学技術大学)について問題提起をいただき、学習法ス キルの定着の可能性を模索する。 ＜課題提起＞ ・創国大学 高木 功氏(経済学部教授) ・千歳科学技術大学 小松川 浩氏(工学部教授)					
16:00	終了	16:00	情報交流会 参加費 会員：5,500円 非会員：5,500円 会場：4F 風韻	16:30	分科会I 初年次教育と学習スキルの定着 本分科会では、大学の授業に学生が主体的に参加できる よう、学習の動機付け、学習方法、文書表現力などのスキ ルについて大学としての取り組みや(創国大学)、初年次教 育の学習スキルの定着を図るための全学的な取り組み(千 歳科学技術大学)について問題提起をいただき、学習法ス キルの定着の可能性を模索する。 ＜課題提起＞ ・創国大学 高木 功氏(経済学部教授) ・千歳科学技術大学 小松川 浩氏(工学部教授)					